

政策調整委員会

委員長 太田 昭 司 様

社会文教委員会

委員長 岡 秀 子

意見交換会において出された議会要望について（回答）

令和2年2月5日付元議第133号にて依頼を受けました件につきまして、下記のとおり協議結果を回答いたします。

記

1 議会への要望事項

- (1) 障がい者についての、学校における教育・交流の機会を増やしてほしい。
- (2) 地域での障がい者に対する理解を深める機会、また参加の機会を作してほしい。
- (9) 大北地区北部にも養護学校を設置してほしい。

回答：安曇養護学校分室の設置及び、副学籍の導入に向けて県と大北地区市町村の教育委員会で協議しており、大町以北で6名以上の希望があれば、分室の設置が可能であることから、現在、各市町村が保護者へアンケートを実施している。また、副学籍が導入されれば、地域行事の情報も得やすく、参加しやすくなるため、今後の動向を注視していくこととしたい。

- (3) ヘルプマークの周知と活用。

回答：広報掲載やポスター掲示により、ヘルプマークの周知を行っているが、認知度が低い状況である。また、マークを持っている人への対応方法が分からない人も多いため、併せて今後も積極的な啓発に努めるよう、行政へ伝える。

- (4) 避難所などで障がい者と分かるようなバッジやリボンを用意してほしい。
- (12) 災害時の障がい者に対する対応を充実してほしい（避難所に障がい児のための個室の設置など）。

回答：災害時は、身近な避難所に避難いただくことになる。ここでは、要配慮者の状況に応じて、別室などで生活できるよう配慮することとしている。また、避難生活が長期化する場合については、福祉避難所開設後において移動いただくことが可能である。バッジやリボンについては、希望者に配慮できるよう、行政へ伝える。

(5) 病院の待合時間については、車内などで待っててもらい、携帯電話で呼び出しをするなど改善をしてほしい。

回答：相談があった場合には個別対応している。院内での情報共有はされており、利用について更に周知を図る。

(6) 行政、福祉事業所、学校などで、障がいに関するスペシャリストを養成してほしい。

回答：研修機会の充実と、相談者の立場に立った丁寧な対応を心がけるよう、行政へ伝える。

(7) 重度の障がい者を受け入れるデイサービスを設置してほしい。

(8) 障がい者のためのグループホームを増やしてほしい。

(10) 経済的にも安心して暮らせる福祉制度の充実を図ってほしい。

回答：市の窓口は福祉課である。実際には空いている施設もあるが、施設と希望者の状態にあったマッチングが難しい。グループホームについては、相談のあった希望者数を既存の事業所に伝えている。「障がい者福祉制度のあらまし」や、福祉制度について、出張講座など市職員による説明会も開催可能である。保護者の勉強会などに活用いただきたい。

(11) スクールバスの代替となる福祉バスを（スクールバスが利用しづらい）運行してほしい。

回答：設置者である県に、市教育委員会を通じて継続して要望するよう、行政へ伝える。

(13) 困ったときになんでも相談できる窓口（駆け込み寺）を設置してほしい。

回答：子育て支援課が窓口となっている。福祉課とも連携しワンストップで対応し、更なるサービス向上に取り組むよう、行政へ伝える。

(14) 今後も定期的に議会との意見交換会を開催してほしい。

回答：要望があれば開催していく。

(15) 市（行政）への要望に対する定期的な回答が欲しい。

回答：市長と安曇養護学校PTAとの「まちづくり行政懇談会」でのPTAからの要望を伺っていることから、進捗状況等について回答してもらうよう、行政に伝える。